

豊中市母子父子福祉センター選定評価委員会審査基準表

選定考査項目 (配点)	評価ポイント		番号	審査基準					配点
				優れている (配点×100%)	やや優れている (配点×75%)	普通 (配点×50%)	やや劣っている (配点×25%)	劣っている (0点)	
1. 基本姿勢 (90)	管理運営の基本姿勢(基本理念、事業目標)が公共の利益の増進に合致したものであるか		1	公共の利益増進を極めて真摯に追求している	←→	公共の利益増進に概ね合致している	←→	公共の利益増進に反している	15
	市の施策全般を理解し協力する姿勢があるか	人権の視点	2	積極的に理解協力する姿勢がうかがえる	←→	理解協力する姿勢がうかがえる	←→	理解協力する姿勢がうかがえない	15
		ひとり親家庭への支援の充実の視点	3	積極的に理解協力する姿勢がうかがえる	←→	理解協力する姿勢がうかがえる	←→	理解協力する姿勢がうかがえない	30
	仕様書に記載した関係法令を理解し、遵守する姿勢があるか		4	法令遵守の入念な体制を構築している	←→	遵守する姿勢がうかがえる	←→	遵守する姿勢がうかがえない	15
	本施設の設置目的に沿った事業運営を行う提案か		5	設置目的を真摯に追求した事業運営の提案である	←→	設置目的に沿った事業運営の提案である	←→	設置目的に沿った事業運営の提案ではない	15
	確保すべきサービス水準	事業参加者延人数 (大をめざすもの)	6	最高評価サービス水準:975人/年 確保すべきサービス水準:650人/年 後述の算式により評価点算出					20
		相談件数 (大をめざすもの)	7	最高評価サービス水準:600件/年 確保すべきサービス水準:400件/年 後述の算式により評価点算出					20
		事業参加者アンケートの満足度 (大をめざすもの)	8	最高評価サービス水準:90%/年 確保すべきサービス水準:80%/年 後述の算式により評価点算出					20
		仕様書に記載の「ひとり親家庭及び寡婦に対する養育費確保や親子交流の支援」について仕様書に即し、社会状況等をふまえつつ、具体的で実現性のある提案になっているか。また、提案内容に創意工夫が見られるか。	9	仕様書に即した具体的内容であり、多様な創意工夫もみられ、仕様書に記載以外の具体的事業も提案されている	←→	概ね仕様書に即した具体的内容である	←→	仕様書に即した提案がみられない	30
		仕様書に記載の「ひとり親家庭及び寡婦に対する生活支援」について仕様書に即し、社会状況等をふまえつつ、具体的で実現性のある提案になっているか。 また、提案内容に創意工夫が見られるか。	10	仕様書に即した具体的内容であり、多様な創意工夫もみられ、仕様書に記載以外の具体的事業も提案されている	←→	概ね仕様書に即した具体的内容である	←→	仕様書に即した具体的な内容がみられない	30
		仕様書に記載の「ひとり親家庭のこどもに対する学習支援・生活支援」について仕様書に即し、社会状況等をふまえつつ、具体的で実現性のある提案になっているか。また、提案内容に創意工夫が見られるか。	11	仕様書に即した具体的内容であり、多様な創意工夫もみられ、仕様書に記載以外の具体的事業も提案されている	←→	概ね仕様書に即した具体的内容である	←→	仕様書に即した提案がみられない	30

選定考査項目 (配点)	評価ポイント		番号	審査基準					配点
				優れている (配点×100%)	やや優れている (配点×75%)	普通 (配点×50%)	やや劣っている (配点×25%)	劣っている (0点)	
2. サービス水準・施設効用の 発揮 (320)	センター事業に関する業務	仕様書に記載の「離婚前後の親支援」について仕様書に即し、社会状況等をふまえつつ、具体的で実現性のある提案になっているか。また、提案内容に創意工夫が見られるか。	12	仕様書に則した具体的内容であり、多様な創意工夫もみられ、仕様書に記載以外の具体的事業も提案されている	↔	概ね仕様書に則した具体的内容である	↔	仕様書に則した提案がみられない	30
		仕様書に記載の「母子父子福祉センター及びセンターの実施事業の広報啓発」について仕様書に即し、社会状況等をふまえつつ、具体的で実現性のある提案になっているか。また、提案内容に創意工夫が見られるか。	13	仕様書に則した具体的内容であり、多様な創意工夫もみられ、仕様書に記載以外の具体的事業も提案されている	↔	概ね仕様書に則した具体的内容である	↔	仕様書に則した提案がみられない	30
		仕様書に記載の「自主事業の実施」について仕様書に即し、社会状況等をふまえつつ、具体的で実現性のある提案になっているか。また、提案内容に創意工夫が見られるか。	14	仕様書に即した具体的内容であり、多様な創意工夫もみられ、仕様書に記載以外の具体的事業も提案されている	↔	概ね仕様書に即した具体的内容である	↔	仕様書に即した提案がみられない	20
		豊中市や関係機関(社会福祉協議会、とよなか男女共同参画センター、法テラス等)と連携・協働して事業を行う姿勢が見られるか	15	センター事業全体を通して豊中市、関係機関と連携・協働する具体的な姿勢がみられる	↔	豊中市、関係機関と協働する提案がみられる	↔	豊中市、関係機関と協働する提案がみられない	20
	施設運営管理	施設の維持管理を安心安全、適切に行う能力等を有しているか	16	業務体制や過去の実績等から安心安全な維持管理を行う能力等がうかがえ、さらに維持向上するしくみについて、具体的な提案がある	↔	業務体制や過去の実績等から安心安全な維持管理を行う能力等がうかがえる。安心安全への配慮がある。	↔	安全管理が不十分である。安心安全の配慮がみられない。	20
		利用者等にサービスを提供するうえで、施設、設備による事故防止のための安全管理が徹底されているか	17	安全管理が徹底され、さらに徹底するしくみについて、具体的な提案がある	↔	安全管理が徹底されている	↔	安全管理が不十分である	20
		使用許可の判断等を公平公正に行う能力等を有しているか	18	業務体制や過去の実績等から公平公正に行う能力等がうかがえ、さらに公平公正を維持向上するしくみについて、具体的な提案がある	↔	業務体制や過去の実績等から公平公正に行う能力等がうかがえる	↔	公平公正に行う能力等がうかがえない	10
	安定して確実に管理運営業務を遂行する能力等を有しているか 母子及び父子並びに寡婦の福祉の向上に資する活動の実績があるか		19	業務体制や過去の実績等から安定して確実に遂行する能力等がうかがえ、さらに安定性を維持向上するしくみについて、具体的な提案がある	↔	業務体制や過去の実績等から安定して確実に遂行する能力等がうかがえる	↔	安定して確実に遂行する能力等がうかがえない	20
3. 所要コストの 適正度 (300)	指定管理委託料		20	最高評価点の相当額: 17,338,750円 予定価格: 17,875,000円 * 後述の算式より評価点を算出します * 提案額は、指定管理期間の平均額となります					300

選定考査項目 (配点)	評価ポイント	番号	審査基準					配点
			優れている (配点×100%)	やや優れている (配点×75%)	普通 (配点×50%)	やや劣っている (配点×25%)	劣っている (0点)	
4. 財務健全性 (80)	賃借対照表は健全か	21	健全であり、非常に良好		概ね適正である		債務超過に陥っている	20
	損益計算書(または収支計算書)は健全であるか	22	健全であり、非常に良好		概ね適正である		著しい累積欠損がある	20
	資金保有は健全か	23	健全であり、非常に良好		概ね適切である		資金に余裕が全くない	20
	収支計画は適切か	24	適切である		概ね適切である		説明のつかない部分がある	20
5. 市民満足度 への配慮 (70)	利用者満足度の把握の仕方は適切であり、サービスの向上が見込まれるか	25	利用者満足度を検証し、改善に結びつける具体的なしくみについて、提案がある		利用者満足度を改善するための提案がある		利用者満足度を改善するための提案がみられない	30
	利用者の苦情や要望、意見等への適切な対応ができるか	26	苦情等への対策や対応の方針等が具体的に確立しており、具体的な提案がある		苦情等への対策や対応について取り組みや意識がある		苦情等への対策や対応についての意識がない	20
	地域住民、事業者等との良好な関係構築や協働の推進のための提案があるか	27	地域住民等との関係性を検証し良好な関係構築や協働の推進に結びつけるしくみについて、具体的な提案がある		地域住民等との良好な関係構築、協働の提案が見られる		地域住民等との良好な関係構築、協働の提案が見られない	20
6. 従業員への 配慮(100)	労働関係法令を遵守しているか	28	入念な体制を構築して遵守している		遵守している		遵守していない	20
	従業員の指導育成に関する方針・計画を有しているか	29	方針・計画を有し、進捗管理等の実効性が担保されるしくみについて、具体的な提案がある		方針・計画を有している		方針・計画を有する提案がない	20
	上記、方針・計画に基づき、指導・研修等が実施されるか	30	体制を整備して、多様な内容の研修が定期的実施されることが見込まれる		定期的に実施されることが見込まれる		実施される見込みがない	20
	従事者の健康や、仕事と生活の調和に配慮したものになっていて、従事者が働きがいを持ちいきいきと業務に取り組めるような提案があるか	31	従事者が働きがいを持っていきいきと業務に取り組めるしくみについて、具体的な提案がある		従事者が働きがいを持っていきいきと業務に取り組めるための提案がある		従事者が働きがいを持っていきいきと業務に取り組めるための提案がみられず働きがい・意欲等を阻害するものがうかがえる	20
	従事者(第三者委託先の従事者含む)が業務を行う際の安全管理が徹底されているか	32	従事者の安全管理(労働安全衛生等)が徹底されるしくみについて、具体的な提案がある		従事者の安全管理(労働安全衛生等)が徹底されるしくみがある		従事者の安全管理(労働安全衛生等)が不十分である	20

選定考査項目 (配点)	評価ポイント	番号	審査基準					配点
			優れている (配点×100%)	やや優れている (配点×75%)	普通 (配点×50%)	やや劣っている (配点×25%)	劣っている (0点)	
7. 個人情報保護体制 (20)	個人情報保護(個人情報の漏洩、不正利用の防止等)の体制が整備されているか	33	充実した個人情報保護の体制について、具体的な提案がある	←→	個人情報保護の体制がある	←→	個人情報保護の体制がみられない	20
8. 危機管理体制 (20)	火災や地震、不審者の侵入など、緊急事態発生等への危機管理体制が整備されているか	34	充実した危機管理体制について、具体的な提案がある	←→	危機管理体制がある	←→	危機管理体制がみられない	20
							合計	1,000

豊中市母子父子福祉センター選定評価委員会審査基準表

公募開始日から起算して過去3か年以内の処分歴(入札参加停止措置等)を審査し、処分の終期から公募日までの経過期間及び処分期間の長さ等に応じて減点を行う。(減点は最大で配点の5%程度までとする。)

【入札参加停止措置等】 配点: ▲15点

1. 基本姿勢

- ③ 参加停止措置等の期間が6カ月未満の場合…配点×50%(国や他の自治体による場合は0.5を乗ずる)
- ③ 参加停止措置等の期間が6カ月以上の場合…配点×100%(国や他の自治体による場合は0.5を乗ずる)

【契約解除】 配点: ▲10点

2. サービス水準・施設効用の発揮

…配点×100%(国や他の自治体による場合は0.5を乗ずる)

- ⑤ 本市における過去の契約履行において不正又は不誠実行為等を理由に「入札参加資格停止基準」に基づく書面による警告を受けたことがある場合又は指定管理業務の履行において書面による勧告・命令を受けたことがある場合…1件につき配点×50%

※②から④について参加停止措置等の期間の終期又は契約解除等の日が公募日の1年以上前の場合は当該算定結果に0.5を乗ずる。

●審査基準表に関する基本的な考え方

- ・選定考査項目(1～9)のうち1項目でも項目内合計点が0点となった団体は、他の合計点数にかかわらず指定管理者としては不適格とする。
- ・採点結果が全体配点の50%未満の団体(全体として普通よりも劣る団体)は、単独応募または相対順位が1位の場合であっても、指定管理者としては不適格とする。

●価格評価点の計算方式

最高評価点の相当額;S 予定価格;A
(Sを0円とすることも可能・SとAは異なる額($S < A$)とする)

①提案額 $\leq$ Sの場合

基礎点数=価格評価の配点(以下、「配点」)×100%

② $S <$ 提案額 $\leq$ Aの場合

基礎点数=配点×50% + 配点×50%×(A－提案額)／(A－S)

③A<提案額の場合

評価点数＝配点×0%

①②の評価点数＝基礎点数×根拠係数(0.0～1.0)

【根拠係数について】

財務諸表からみる団体の財務健全性、収支計画の確実性(利用料金制をとる場合は収益事業計画の確実性も含む)から審査し、以下いずれかの係数を割り当てる。

係数の判断根拠は審査結果に付記する。

- ・係数1.0;提案額には根拠があり当該額で運営可能と考えられる
- ・係数0.75;提案額には一定の根拠があり当該額での運営は概ね可能と考えられる
- ・係数0.5;どちらともいえない(判断し難い)
- ・係数0.25;提案額に根拠が乏しく当該額での運営は困難と考えられる
- ・係数0.0;提案額には根拠がなく当該額では運営不可能と考えられる

●サービス水準評価点の計算方式

必要と考えるサービス水準を明確に示したうえで提案を募り、それらに対する評価点は次の計算方式で算出することとします。

最高評価サービス水準値;S 確保すべきサービス水準値;A
(Sを0とすることも可能・SとAは異なる値とする)

1. 大をめざすサービス水準項目(稼働率・利用者数等;大をめざすサービス水準項目(稼働率・利用者数等;A<S)

①S<=提案 値の場合

基礎点数 = 配点 × 100%

②A<= 提案 値< Sの場合

基礎点 数=配点× 50 % + 配点× 50 %× (提案 値－ A)／(S－A)

③提案 値< Aの場合

評価点 数=配点× 0%

【根拠係数について】

事業計画書の確実性から審査し、以下いずれ係数を割り当てる。係数の判断根拠は審査結果に付記する。

- ・係数1.0:提案値には根拠があり当該値を達成可能と考えられる
- ・係数0.75:提案値に根拠が乏しく当該値での運営は困難と考えられる
- ・係数0.5:どちらとも言えない(判断し難い)
- ・係数0.25:提案値に根拠が乏しく当該値は達成困難と考えられる
- ・係数0.0:提案値には根拠がなく当該達成不可能と考えられる